

お知らせ

INFORMATION

No.2017-30
2017年8月
病体生理研究所

新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたのでご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

◆ 便中カルプロテクチン [16814] …検査実施施設 (S)

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2017年8月21日（月）受付分より

【新規項目情報】

項目名称	便中 カルプロテクチン
コード	16814
検体材料	便 1g
保存	絶凍
採取容器	No.37 採便容器
検査方法	ELISA
基準値・単位	潰瘍性大腸炎の病態把握のカットオフ値 240 $\mu\text{g/g}$
所要日数	6～11日
実施料(区分)	276点(D014 27)
判断料	144点(免疫学的検査)
備考	他項目との重複依頼は避けてください。O伝票欄外項目扱いです。

潰瘍性大腸炎の活動性評価に有用な新規マーカーです。

カルプロテクチンは、主に好中球の細胞質に含まれる分子量36kDaのカルシウム・亜鉛結合タンパク質です。潰瘍性大腸炎では、活動期の腸管に浸潤した好中球から分泌され、便とともに体外に排出されることから、腸管の炎症度を反映するマーカーとして知られています。

潰瘍性大腸炎は、クローン病とともに炎症性腸疾患と総称される慢性の炎症性疾患であり、国の難病に指定されています。根本的治療法が確立されておらず、再燃と寛解を繰り返すことから長期にわたる医学管理が必要とされ、定期的な内視鏡検査が行われています。しかし、内視鏡検査は侵襲性が高く患者の負担が大きいことから、より簡便な検体検査が求められていました。

ELISA法による便中カルプロテクチンは、潰瘍性大腸炎の患者に対する病態把握の補助を目的とした検査として、2017年6月に保険適用となりました。臨床性能試験では、Disease Activity Index (DAI) 内視鏡スコア1以下を内視鏡的寛解とし、本検査のカットオフ値を240 $\mu\text{g/g}$ とした場合の診断性能として、感度96.7%及び特異度64.9%、陽性的中率69.0%及び陰性的中率96.0%、判定一致率79.1%の結果が得られています。

非侵襲的に潰瘍性大腸炎の活動性を評価する検査としてご活用ください。

以上